

やくしん

【 205号 】

2023年8月1日発行

民社協会東出雲支部機関紙

森本ひでとし議会だより/後援会だより

発行・編集 民社協会東出雲支部

松江市東出雲町揖屋 667-1

新たなまちづくりの拠点オープン



【供用開始された東出雲複合施設「ヨリアイーナ東出雲」】

東出雲町の新たなまちづくりの拠点となる複合施設「ヨリアイーナ東出雲」が完成し、6月19日より供用開始されました。支所、公民館、図書館、子育て支援センター、包括支援センターの5つの機能が備わった施設となっています。今後はここを拠点にまちづくりが進められていくことを期待したいと思います。

公民館統合から3年目となりました。東出雲公民館の活動もさることながら、旧4地区のこれからの活動にも注力が必要と考えます。まずはコロナ禍が落ち着いてきた今、各自治会を中心に動き出すことが肝要だと思いますがいかがでしょうか。

さて、松江市議会5月臨時会が5月17日に、6月定例会が6月20日から7月13日まで開会されました。令和5年度補正予算、条例案件等の議案が上程され、全て原案通り可決いたしましたので、ご報告いたします。



松江市議会議員
森本 ひでとし

物価高騰に対応し市民生活を応援した補正予算

令和5年度
一般会計補正予算

5月17日の臨時会で令和5年度一般会計補正予算(第1号)総額9億4千万円余が、6月20日から開会の定例会で一般会計補正予算(第2号)総額4億8千万円余、(第3号)総額7億3千万円余が上程されました。国からの新型コロナ対応地方創生臨時交付金が主な財源であり、新型コロナ対応や物価高騰対策等に活用していく内容となっています。また、議会最終日には補正予算(第4号)として松江市総合体育館改修事業費2千7百万円余が上程されました。

再度水道料金の減免

6月20日より開会された定例会では、一般会計補正予算総額12億4千万円余が上程されました。そのうち、上下水道事業会計補給金5億1千万円余については、水道料金の減免措置をするもので、2月議会の代表質問で我が会派は



上水道の使用は下水道料金に跳ね返ります。節水にもご協力ください。

再度実施してはどうかと質しております。

また、物価高騰に伴い9年ぶりに学校給食費等の見直しが図られ、今年度2学期か

ら給食費の値上げが予定されています。これに対し2・3学期の値上げ分の半額を助成するため、学校給食費支援事業として7千万円余、保育所についても3千万円余が計上されています。

省エネ対策にも再度支援

エネルギー価格の高騰が続く中、その影響を受けている商業・サービス業、製造業、施設園芸の農業者、漁業者などに対し、省エネに資する設備導入や対策などに支援するとして総額1億1千万円余が計上されています。いずれも昨年も同様の支援がされており、今回も国からの地方創生臨時交付金を活用し実施されるものです。

体育館改修準備に2,781万円

一般会計補正予算(第4号)は、島根スサノオマジックのホームアリーナである松江市総合体育館が、現状のままでは新B1リーグの条件を満たさず、改修の必要性が生じたことから、その準備業務としての費用を事業者へ委託するものです。議会からは、もっと早くに議会に開示すべきではとの意見がありましたが、市長からは様々な事情から提案が遅くなってしまったと弁明がありました。今回は準備のための費用ですが、今後の動向に注視してまいります。

令和5年度一般会計予算(第1号～第4号)の主なもの

(単位:千円)

事業類別	予算額	概要
価格高騰重点支援給付金給付事業費	672,500	物価高騰により家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対し、一世帯当たり3万円を給付する。
子育て世帯生活支援特別給付金	268,400	物価高騰により影響を受ける低所得の子育て世帯に対し、児童一人当たり5万円を給付する。
新型コロナワクチン接種事業費	221,530	新型コロナワクチンの令和5年度春及び秋接種開始の実施体制整備を行う。
新企業団地敵地選定事前調査事業費	4,770	新たな企業団地の適地を探るため基礎情報の収集分析を行う。
上下水道事業会計補給金	511,080	物価高騰による市民生活の負担を軽減するため、水道料金等の2ヵ月分を減免する。
学校給食費支援事業費	79,490	食材費高騰により値上げ予定している学校等の給食費について、値上げ分の半額を助成する。

事業類別	予算額	概要
保育所等給食用食材費補助事業費	30,060	保育所等の給食用食材費の上昇分について補助を行い、保護者負担を軽減する。
商業・サービス業等省エネ対策支援事業費	48,300	商業・サービス業事業者が取り組む省エネ対策設備投資を支援する。
製造業省エネ対策支援事業費	55,500	製造業の中小企業が取り組む省エネ対策設備投資を支援する。
施設園芸省エネ対策支援事業費	1,600	施設園芸において、既存の農業用ハウスの省エネ効果の向上を支援する。
漁業省エネ対策塗装支援事業費	8,000	漁業者が取り組む省エネに資する船底等の塗装費用を支援する。
松江市総合体育館改修事業費	27,810	新B1入会基準に適合した体育館への改修事業等の準備業務を事業者へ委託する。

◆◆◆ 代表質問概要 ◆◆◆

除雪対応について

問 昨シーズンの除雪対応で、市民の皆さんからどのような声が寄せられたのか。また、寄せられた声や課題について今後どう対応していくのか。

答 除雪については民間事業者と委託契約を結び、路線に優先順位をつけ行っている。今年1月下旬の大雪の際には、大雪が予想されたため、通常は積雪15センチのところを5センチになり次第除雪を開始した。しかし、再降雪により除雪を急いでほしいとの声が寄せられた。断続的な除雪に対応するには、現在の除雪機材の台数では追い付けないことから、島根県と連携し、除雪機材の再配置や積雪センサーの設置など実施していく。

問 近年、重機所有事業所が減少し、オペレーターも減ってきている状況にある。除雪オペレーター不足を補う方法として、以前の質問で農業者に委託することを提案し、他自治体の事例も参考にして検討するとのことであった。検討の状況を伺う。

答 オペレーター不足を踏まえ、他の自治体における状況調査を行ったところ、資格取得支援制度の導入によってオペレーター数の増加が確認でき、同制度の運用が有用であると判断している。このことから本市においても令和6年度から資格取得制度の運用開始を目指して準備を進めている。

海ごみゼロ宣言について

問 海洋漂着ゴミの実態について、ごみの種類やごみ量、また近年の推移はどうか問う。

答 本市における漂着ごみの処理状況は、令和2年度65.9トン、令和3年度70.6トン、令和4年度81.7トンとなっている。海岸漂着ごみについては、島根県が鹿島町古浦海水浴場にて調査を行っており、今年2月15日の調査結果では、漂着ごみの量が639キロで、プラスチックなどの人工物が63.2%、流木などの自然物が36.8%であった。

問 具体的にどのような取り組みをされるのか。宍道湖や中海も対象とするのか。市民へのPR方法はどうか。近隣自治体との連携の考えはあるか。

答 使い捨てコンタクトレンズ空ケースの回収に関する協定書を締結し回収に取り組んだり、ごみ拾い対決イベント等も行った。海ごみゼロ宣言のキックオフイベントでは懸垂幕を掲揚した。キャッチ

フレーズを使ったのぼり旗の作成や旗の掲揚で海ごみゼロに向けたPRを図っていく。また、学生と漁師が連携して、海ごみ削減授業の実施などを予定している。宍道湖、中海も対象としており、中海・宍道湖一斉清掃では、3,687人の方に参加いただいた。近隣自治体や県とも連携して様々なことを進めていく考えである。

問 海ごみは陸地からの流入もある。山や河川を対象とした取り組みの考えを問う。

答 川などから海へ流れるごみの対策も重要と認識している。海ごみの約80%は“まち”から発生したごみとされており、プラスチックが約65%を占めていると言われている。貴重な海を将来にわたり守っていくため、川から海へと流れるごみを減らしていく必要があると考える。

問 農業用のプラスチック被覆肥料のプラスチック殻の流出防止対策について、具体的にどのような周知啓発に取り組まれたのか。

答 市ホームページにおいてプラスチック殻流出防止の必要性や、排出口にネットを張る流出防止方法を一例として掲載している。さらにプラスチックを使用しないペースト肥料を用いた施肥技術など、代替え技術の詳細な紹介に加え、市の窓口で啓発チラシを配布し周知に取り組んでいる。すぐに成果があがるものではないが、地道に周知に取り組み、一日も早く成果が上がるよう努めていく。

問 ペースト肥料を施肥する田植機の印象について問う。また、プラスチックコーティングしていない肥料であるペースト肥料の普及促進の考えはないのか。

答 プラスチック被覆殻を発生させないため、ペースト肥料の普及促進は、環境負荷の軽減効果が高いと認識した。しかし、ペースト肥料の施肥には、専用の田植機が必要であり、農業者に一定の負担が生じると想定する。引き続き流出防止対策の周知にも取り組んでいく。



プラ殻を発生させないためには、ペースト施肥が有効です。

森本議員、経済委員長に選任

松江市議会 5月臨時会
(議長選挙・常任委員選任)

5月17日の松江市議会臨時会において、経済委員長に森本議員が就任しました。

議会の申し合わせにより、常任委員会、特別委員会は半期ごとに交代することになっています。森本議員はこの度経済委員会に選任となり、委員長選挙において指名推薦により承認されました。

森本議員は就任のあいさつで、「コロナで傷ついた経済を立て直していくためにも、しっかりと責務を果たしていく」と決意を述べました。



人口減少が進む中での地域のあり方とは

島根県市議会議長会
議員研修 (7/11 開催)

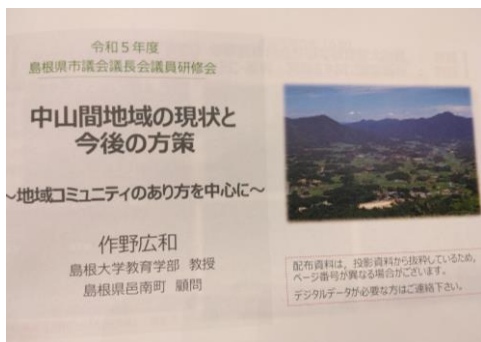
7月11日、島根県市議会議長会主催の議員研修会が開催され、島根大学の作野広和教授に「中山間地域の現状と今後の方策」について講演いただきました。

人口減少と言われ久しくなりますが、実は、今の少子化は60年も前から始まっ

ています。こうした状況ですので、地域の担い手がいない、自治会が維持できないなどの声も上がっています。

人口減少の流れはそう簡単に止められるものではありません。これからは人口減少に対応した地域のあり方を考えることが必要ではないかということ、そして、どうすれば誰もが安心して暮らせる地域づくりができるのかという内容でした。

コロナ禍の影響のより地域の交流活動も衰退している状況にあります。人口減少という現実はあるにせよ、こういう時だからこそ、地域のあり方について考えていくことが必要であり、また、人材の育成は欠かせないものではないかと感じました。



いたとされています。また、地方においては若者の人口流出が、地域の人口減少に拍

9月議会日程

一般質問 (9/11~13) は、マーブルテレビで放映されます。またYouTubeでも見れます。議会傍聴はどなたでもできます。本会議は議場で、委員会は第1委員会室、第2委員会室で行われます。

詳しくは、議会事務局へ問い合わせ下さい。



月	9																													10	
日	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2			
曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月			
会名					本会議 (一般質問)		本会議 (一般質問)		本会議 (一般質問・議案質疑・委員会付託)		決算特別委員会				総務委員会・教育民生委員会		経済委員会・建設環境委員会		経済委員会・建設環境委員会				決算特別委員会・予算委員会				本会議 (委員長報告・討論・採決) 閉会				

民社協会東出雲支部・森本ひでとし後援会では、皆さまからのご意見等をお待ちしております。
(三菱農機労組内)

TEL0852-52-2743

FAX0852-52-5688

森本情報はこちら

